

人権の広場

3月1日～8日は

女性の健康週間

【女性の健康週間】

女性は妊娠や出産をする可能性もあるなど、生涯を通して、男性とは異なる健康上の問題に直面することがあります。しかしながら、日本の女性の検診率は低い状況にあり、女性特有の病気が若い世代に増えつつあることも心配されています。ぜひ、この週間を機に検診を受けるなど、自分の身体を大切にすることを考えてみてください。

「第2次いずみさの男女共同参画行動計画（人ひとプラン）」の中でも、「男女の生涯を通じた健康・保持支援」を基本目標の一つとしています。男女が身体的性差についての理解を深め、互いの人権を尊重し、相手への思いやりを持って生きることが、誰もがいきいきとした社会づくりにとって大切なことです。

【3月8日は「国際女性デー」】

国連は1975年（国際女性年）に3月8日を国際女性の日としました。女性に対する差別撤廃と、社会開発への完全かつ平等な参加に向けた環境整備に貢献することが日本を含め各国に期待されています。

世界経済フォーラムは平成29年、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数を発表し、日本は144カ国中114位でした（平成28年は144カ国中111位）。特に政治、経済分野において格差が大きい日本の状況を反映していると考えられます。国際的視野においても、日本の社会は男女の平等が進んでいるとは言えない状況です。日本は日本の文化、社会の状況などにも配慮しつつ、国際的な概念や考え方を重視し、国際的な協調を図ることが必要です。そのためにも、私たち一人ひとりが身近な暮らしの中の慣習や意識を見直し、男

女がともに暮らしやすい環境について考えることが大切です。問合先 いずみさの女性センター（☎・Fax 469・7125）



障害のある人の人権について考えましょう

身近なところで障害のある人もない人も当たり前に暮らし社会をつくるためになくしてはならないことが「バリアフリー」です。「バリアフリー」とは、行動や人間関係をさまたげるバリア（壁）をなくしていくことです。バリアには、公共交通機関や施設などのハード面と利用者のモラルなどのソフト面があります。

や かんちゅうがっこう べんきょう 夜間中学校で勉強しませんか

いろいろな事情で小学校や中学校を卒業できなかった人、実質的に十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した15歳以上の人、夜間中学校で勉強しませんか。

- 入学の受付は4月27日(金)までです。(土・日曜日、祝日は除く)
- ひらがなから勉強できます。
- 大阪府内に住んでいる人が入学できます。
- 外国籍の人も入学できます。
- 授業料は無料です。

申込・問合先 岸城夜間中学校（岸和田市野田町2丁目19-19 ☎438-6553）

人権研修講演会

「ネット社会と人権

～被害者にも加害者にもならないために～

ラインやフェイスブック、ツイッターなどSNSのもつ功罪について、人権的な視点から、具体例をあげて話していただきます。※申込不要、参加無料

日時 3月9日(金) 午後6時30分～8時

場所 旧下瓦屋人権文化センター 2階集会室

講師 妻木靖朗さん（大阪府教育庁地域教育振興課 主査）

問合先 下瓦屋地域協議会 人権研修担当（☎090-8828-9878）



問合先 人権推進課

小・中学生人権作品「人権はみんなの課題」

問合せ先 学校教育課

小・中学校の児童や生徒から多くの人権作品が寄せられ、昨年12月2日に入賞者の受賞式が行われました。そのなかから最優秀賞作品の一部を紹介します。(順不同・敬称略)

【標語】

皆にあり 守ってこそその 人権だ

上之郷小学校6年生 飯田翔大

ごめんねの そのひとことに

咲く笑顔

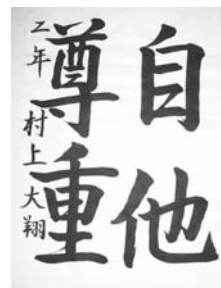
佐野中学校1年生 南出琴葉

【ポスター】

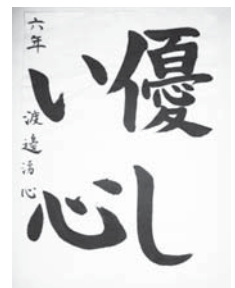


▲日根野小学校4年生 尾上結愛

【書道】



▲佐野中学校2年生 村上大翔



▲第二小学校6年生 渡邊湧心

【詩】 「自由」だということ 第二中学校1年生 田村真那

毎日毎日 当たり前前のこと
学校に行つて勉強すること
給食が食べられること
好きなスポーツができること
自分の興味があることを自由にできること

いつもいつも 当たり前前のこと
友達と遊ぶことができること
自由に関わることができること
自分の好きな衣服を着られること
好きな歌を歌えること

自分の未来の 当たり前前のこと
高校や大学を自分で決められること
自分が選んだ職に就けること

生まれてから今まで
たかさんの「自由」が当たり前にある
でも もし「自由」がなかったら？

学校にいけない
勉強ができない
自分がしたいと思うことができない

友達と遊べない
必要なものを買えない
自分の好きな衣服を着られない
歌を歌うこともできない
自分の進路を自分で決められない
自分が「幸せ」だと思つことがない

こんな世の中は
楽しくない
おもしろくない
「幸せ」じゃない！

「自由」が当たり前で気付いていないけど
「自由」は楽しい、おもしろい
とても素晴らしい
だから「自由」に感謝すれば
もっと「幸せ」に過ごせるかもしれない

【読書感想文】 「とことんとまとな」 長坂小学校1年生 岩田恋渚

いやなきもち、はずかしいきもち、うれしいきもち
たのしいきもち、なきたいきもち。
とまとなには、いろいろなきもちがあるんだよ。
わたしにもいろいろなきもちがあるんだよ。

あさ、がっこうにいきたくないときがあつて
ちょっとなきながらがっこうにいったことがあるよ。

わたしにも、がっこうにはともだちはいるけど
はじめのときは、「ともだちできるかな。」としんぱいしていたよ。

ともだちがはじめてできたときは、とてもうれしかったよ。
いまはあさ、なかつてがっこうにいっているよ。
ともだちとおはなししたり
あそんだりしてたのしいから
「わたしには、まほうのことばはいらないよ。」って
とまとなにおしえたいです。